

黒滝村総合計画審議会 令和6年度会議 会議録

日 時	令和6年8月29日（木） 10:00～11:00
場 所	黒滝村役場 2階会議室
出席委員	阪中隆一委員、脇阪武男委員、花岡初男委員、岡山正博委員、 中井龍彦委員、亀井隆平委員、近藤美智雄委員、落合信也委員、 吉田圭志委員、岡部遊志委員 計10名
欠席委員	松本要子委員
事務局	植田忠三郎 村長、上浦豊 副村長、中辻善博 企画政策課長、 上中久利 企画政策課課長補佐、辰谷
次 第	1. 開会 2. 村長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 案 件 ①黒滝村総合計画（令和5年度進捗分）の効果検証について ②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証（令和5年度進捗分）について

会議録を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

黒滝村総合計画審議会 第1回 会議録

・村長あいさつ

植田村長：(省略)

・会長あいさつ

阪中会長：(省略)

・議事録署名人選出

阪中会長：脇阪委員と近藤委員を指名。

事務局：議事の進行を議長として会長に依頼。

阪中会長：案件1「黒滝村総合計画（令和5年度進捗分）の効果検証について」、事務局より説明を指示。

・案件①黒滝村総合計画（令和5年度進捗分）の効果検証について

事務局：「別紙④効果検証質疑回答票」を中心に説明

(質疑回答)

岡部委員：「4-14-1-⑧イベント実施事業」について、イベントを実施できているが、未執行の趣旨。

事務局：企画政策課主催のイベントの目標値を設定しているが、行っていない。
その他に、村内外向けのイベントを実施。

亀井委員：「1-2-1-④訪問看護における医療支援件数、リハビリ専門職の関与」について、案件がなかったが、C判定になる補足。

事務局：コメントの補足は今後対応する。

花岡委員：「4-13-1-①有害鳥獣対策事業」について、シカの質問の有無。
また、イノシシの被害の補足。

事務局：質疑回答資料の6ページから11ページの確認。
イノシシの捕獲については、猟友会から林業建設課に報告。

花岡委員：「５－１５－２－⑤語学留学補助事業」について、オーストラリア派遣に高校生が参加した理由。

事務局：１年前にコロナで事業自体中止されていたため、当時の中学生在が、次の年に高校生として参加。

亀井委員：「３－９－１－①旧役場庁舎改修事業」について、終了時期。

事務局：一旦令和７年度で終了予定。

花岡委員：「４－１４－１－⑧観光施設整備事業」について、旧南都銀行の利用が森林組合で認定された件は、道の駅に含まれるか。

副村長：旧南都銀行の利用方法について、検討会を立ち上げ、選考委員会も行い、３社中、森林組合で決定。旧南都銀行は森林組合が、地域振興のために活用予定。

今回の事業は、令和５年度まで記載しているため、令和６年４月以降のものは、未記入。
防犯カメラの設置箇所についても、８月に社協及び森物語村の自動販売機に防犯カメラを設置。

岡部委員：「１－５－１－①相談支援利用者」について、福祉サービスの利用が安定してきたため、計画相談の回数も減ることは良いが、Ｃ判定になることは、数値目標の難点。

（質疑の終了、次の案件へ）

阪中会長：案件２「新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金事業（令和５年度進捗分）の効果検証について」、事務局より説明を指示。

・案件②新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金事業（令和５年度進捗分）の効果検証について

事務局：効果検証シートを中心に説明

（質疑回答）

岡山委員：地域振興券の受給者数の減少。

事務局：転出や死亡が関係。

岡山委員：地方創生臨時交付金事業は終了か。

事務局：新型コロナウイルスが５類になった時点で事業が終了。

阪中会長：地域振興券の利用率。

事務局：第１回が 97%、第２回が 96%。

（質疑等の終了、その他へ）

事務局：スケジュールを説明

花岡委員：健康寿命について、KPI を改善することが難しい趣旨。

岡部委員：健康寿命の目標値が設定の仕方として妥当かどうか、効果検証することは難しい。

村長：KPI は一筋縄ではいかない。

健康寿命については、後期高齢になられても、まだ社会貢献をしてもらえることが目標。
さらに注力したいため、計画に目標数値を入れている。

KPI の効果検証の在り方自体が課題であり、対象者にはきちんと事業を行いながら、対応案件がなかったものについては、コメントで補足の上、C 判定を総合計から削除する等の考え方をしていくべき。事務局側が恣意的に行わないようだけ注意したい。

阪中会長：閉会の宣言。

以上